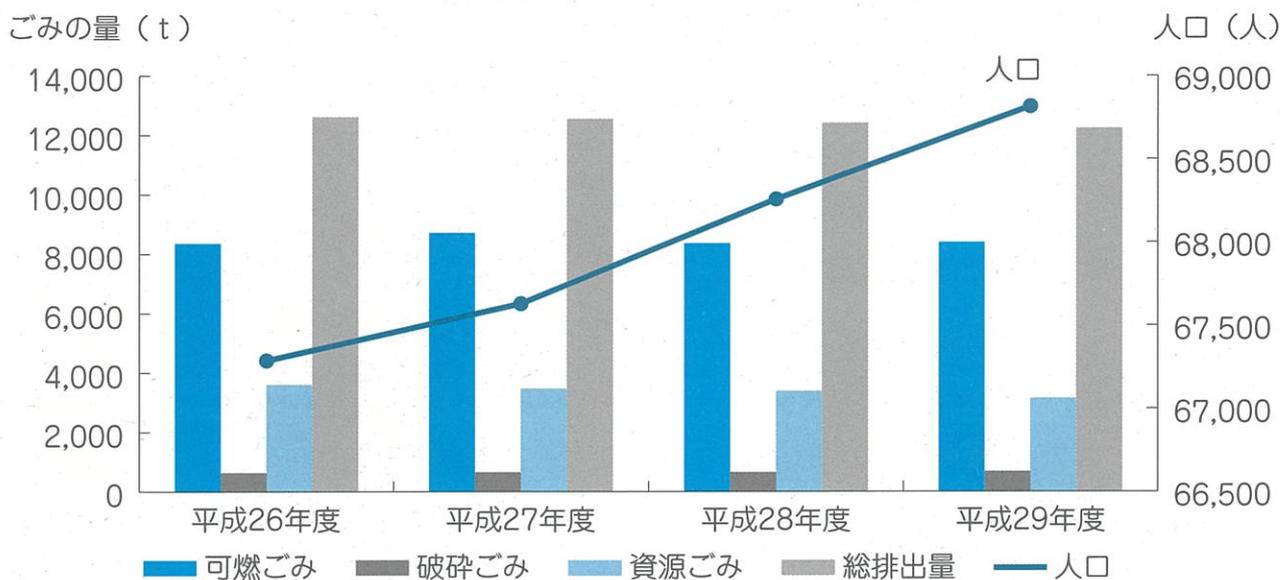




ごみスリムりっとう 43 vol.

家庭から排出されたごみの量と人口の推移 【平成26年度～29年度】



家庭から排出されたごみの量 (単位：t) と人口 (人)

	H26	H27	H28	H29
可燃ごみ	8,367.88	8,420.17	8,365.46	8,400.39
破碎ごみ	634.04	652.79	653.11	684.32
資源ごみ	3,610.36	3,473.28	3,390.23	3,148.75
総排出量	12,612.28	12,546.24	12,408.80	12,233.46
人口	67,289	67,631	68,259	68,817

家庭からでた年間1人あたりのごみ排出量 (kg)

	H26	H27	H28	H29
可燃ごみ	124.36	124.50	122.55	122.07
破碎ごみ	9.42	9.65	9.57	9.94
資源ごみ	53.65	51.36	49.67	45.76
総量	187.43	185.51	181.79	177.77

ごみの排出量は、可燃ごみ・破碎ごみは概ね横ばい、資源ごみは減少傾向です。

一人あたりの年間ごみ排出量は、やや減少傾向にあり、市民一人ひとりのごみ減量・リサイクルへの意識が高まっていると思われます。

今後も引き続き、可燃ごみに多く含まれている菓子箱や紙ごみなどの古紙類の分別や、食材を生ごみにしない工夫をする、生ごみはしっかり水切りして捨てるなど、ごみ減量に取り組んでいきましょう。



知ってください! 三方よし!!でフードエコプロジェクト

「食べられるのに廃棄される食品」いわゆる「食品ロス」は、国内で年間646万トン（平成27年度推計）発生しているといわれています。

滋賀県では、食品ロスを削減するため「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」の一環として、食品ロス削減に取り組む飲食店、宿泊施設、食料品小売店を「三方よし フードエコ推奨店」として登録いただき、その取り組みを紹介しています。

フードエコ推奨店の各取り組みは、飲食店・宿泊施設では、食品ロス削減の呼びかけ、食べ残しが少なくなるメニュー設定や料理の量の調整、食材の使いきり、食料品小売店ではバラ売り・量り売り、賞味期限・消費期限表示の啓発、食品ロス削減レシピの情報提供などです。

滋賀県では、この「三方よしフードエコ推奨店」を募集されています。食品ロス削減にこれから取り組んでいこうとしている事業者さんや、既に取り組んでいる事業者さんは、ぜひご応募ください。

わたしたちも「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」を知り、食品ロス削減の県民運動を一緒に推進しましょう！



栗東市内唯一の「三方よしフードエコ推奨店」をご紹介します！

～ 「DELI&Café 一汁三菜」(栗東市御園) ～

DELI&Café 一汁三菜 は、店内飲食の他、自家製のお惣菜の量り売りや持ち帰りお弁当の用意もある、地産地消・地元密着を目指されているお店です。

オーナー 林 篤徳さんより、お店での取り組みについてお聞きしました。

食品ロスを減らすため、具体的な取り組みを教えてください。

実家が農家でお米を作っています。お店で使う野菜の一部を自ら育てることもありますし、食材を大切に使い切りたい、その思いは常に持っています。推奨店の取組項目にある「食材の使い切り」は既実践していたため、フードエコプロジェクト推奨店に登録しました。

実際、残った野菜の切れ端は野菜のポタージュに使用するなどはもちろん、近所の農家さんから規格外などの野菜を仕入れています。

また、以前は作ったお弁当を並べて販売していました。すると、どうしても売れ残りが発生してしまい、食品廃棄をすることになるので、オーダー後にお作りしています。食品ロスも削減できますし、お客様に作りたてを提供できます。

お客様にされている ころろくばりを教えてください。

量の調整、オーダーがあれば食材の過熱など、できる限り対応したいと思っています。

料理の持ち帰りは、希望されれば容器をお渡ししていますし、実際に「食べきれなかった」と、お持ち帰りいただくお客様もいらっしゃいます。

量や食材についても、気軽に声を発していただければ、両者にとって良いことだと思います。



三方よし!!で
フードエコ
プロジェクト
滋賀県 食品ロス 検索

滋賀県では、近江商人たちが昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに、(食品ロス)を減らす(三方よし!!でフードエコ・プロジェクト)に取り組んでいます。ちょっとした心がけて、売り手よし! 買い手よし! 環境よし! と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。

滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会

事業報告

ごみ・リサイクル探検ツアー

8月1日(水)開催 エフピコ中部リサイクル工場(岐阜県安八郡)

ごみ減量リサイクル推進会議では、毎年夏休みに栗東の親子を対象に、ごみやリサイクル、環境問題についてみなさんの理解や関心を深めていただくためのごみ・リサイクル探検ツアーを開催しています。

今回は使用済み食品トレーやペットボトルをエコトレーやエコ容器にリサイクルされている、エフピコ中部リサイクル工場を見学しました。



今の地球で起こっている様々な問題についてお話をききました。



工場横には、回収されたトレーの塊がいっぱい！



見学後は、おさらい。手選別での作業がとても大変だと感じました。

エフピコでリサイクルできないもの

正しい知識でリサイクルに取り組みましょう。



油がしみついている容器、汚れの落ちない容器などはリサイクルできません。

はじめに、今の地球上で起こっている環境問題や、エフピコ方式リサイクルの仕組みについて学習したあと、発砲スチロールトレーと透明容器のリサイクル工場を見学しました。

使用済み食品トレーやペットボトルは、わたしたち消費者からスーパーマーケットの回収ボックスを経由して、エフピコに運ばれます。回収されたトレー類は、①手作業で選別→②異物(つまようじなど)除去・砕く→③水洗い、熱水洗い→④小さいチップ状にする→⑤熱で溶かす→⑥ペレット(粒)にするの順で、トレーの原料に生まれ変わりました。

わたしたち消費者が持ち込むトレー類には、再生できないトレーが多く含まれていて、それらを取り除く作業(①)がとても大変そうでした。

実際に工場見学した参加者からは、「トレー類はきれいに洗って乾燥させる」、「再生できない容器を正しく理解し、回収ボックスにいれない」などの意見が多くありました。

トレーが集まらないとリサイクルは進みません。このリサイクルの主役はわたしたち消費者です。正しい知識を持って、リサイクルに取り組みたいですね。

お知らせ

ごみ減量とリサイクルに関する学習会

講演：「食品ロスについて～滋賀県の取り組みと わたしたちにできること～」

講師：滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 澤井 幸野さん

日時：平成30年11月10日(土) 10時30分～11時30分

会場：栗東市危機管理センター 3階研修室

講演・エコ体験ブース
いずれも無料

エコ体験ブースを同時開催します。家族みんなで、ごみやリサイクルについて考えてみませんか？

① 「ごみわけゲーム」

(約20分/定員20名)

第1回 10時10分～

第2回 11時10分～

② 「エコビンゴ」

(約30分/定員20名)

第1回 10時30分～

第2回 11時30分～

③ 「簡単エコキャンドルづくり」

(約30分/定員20名)

10時～11時まで/先着順

平成30年度 環境を考えるポスターの応募作品を展示します。
講演やエコ体験ブースとあわせてお楽しみください。

年末ごみ拾い

日時 12月15日(土)

10時～11時(9時30分受付開始)

場所：JR栗東駅周辺

集合場所：JR栗東駅東口



火ばさみ、ごみ袋、軍手はご用意します。みなさまのご参加をお待ちしております。

事業報告

小型家電リサイクル集団回収

9月24日(休日) 栗東市総合福祉保健センター駐車場(愛称：なごやかセンター)
栗東市生活環境保全推進員と合同で、小型家電回収を行いました。

583名の来場者があり、集まった小型家電は10,232kgでした。

小型家電には、価値のある金属が含まれています。また、鉛などの有害な物質は適正な処理が必要です。違法な回収業者を通じた国内外での不適正処分も問題となっています。資源の有効利用と環境汚染防止のため、小型家電のリサイクルにご協力ください！

編集・発行 栗東市ごみ減量リサイクル推進会議

栗東市ごみ減量リサイクル推進会議事務局(栗東市役所環境政策課生活環境係)

TEL 077-551-0341 FAX 077-554-1123 Eメール kankyoseisaku@city.ritto.lg.jp



環境保護のためベジタブル
インキを使用しています。

この広報紙は、古紙パルプを配合しています。